

吉阪隆正 （おきさ たかひさ） 建築家。大正六年一月十二日東京生まれ。昭和五十五年十一月十七日没（九七歳）。昭和十二年早稲田大学理工学部建築学科卒。二十五年フランス留學、二十四年早大教授、四十八年日本建築學會會長。作品に白海會館、ヤチホコ・フランスセなど。また登山家、探検家としても知られ、二十五年早大のヤチホコ・マツキンレー遠征隊の隊長を務めた。

譯者 藤田、ル・コルビュジエ著 コモデユロール（黄金戸）（譯、昭和

二十八年）八月二十日美術出版社）、吉阪隆蔵著『隨筆インデ』（編、

昭和二十四年七月十日柏楳書房）、ミシエヌ・ラヴン著『巨大なる過

ち』（現代の廃墟＝都市）（訳、昭和四十七年十一月二十日発行國産

書店）等。

